

令和2年12月22日

## 和歌山県立医科大学次期理事長兼学長候補者の選考結果について

公立大学法人和歌山県立医科大学理事長選考会議  
議長 稲葉 信

公立大学法人和歌山県立医科大学理事長選考会議（以下、「理事長選考会議」という）は、公立大学法人和歌山県立医科大学理事長選考規程（以下「理事長選考規程」という。）に基づき、下記のとおり理事長候補者を選考した。

### 記

#### 1 理事長候補者

- (1) 氏 名 宮 下 和 久 (みやした かずひさ)
- (2) 年 齢 68歳 (令和3年4月1日現在)
- (3) 現在の職 和歌山県立医科大学理事長兼学長
- (4) 略 歴 別紙のとおり

- 2 任 期 令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）  
（再任）

#### 3 選考過程

- (1) 令和2年7月10日 理事長選考会議で次期理事長兼学長に求められる資質・能力を決定
- (2) 令和2年9月24日  
～9月30日 理事長候補者受付期間
- (3) 令和2年11月4日 所信表明及び質疑応答
- (4) 令和2年11月10日 意向調査
- (5) 令和2年11月26日 理事長選考会議による候補者の面接
- (6) 令和2年12月18日 理事長選考会議による理事長候補者の決定

#### 4 選考理由

理事長選考会議は、理事長選考規程第3条に基づき「次期理事長兼学長に求められる資質・能力」を定め、履歴等審査、所信表明、意向調査、面接等を実施するとともに、教育・研究、医療、経営に関する候補者のビジョンを通して、人物像、リーダーシップ等を検討した。

宮下和久氏は、平成30年4月から理事長として本法人の運営にあたり、これまで着実にその職責を果たしてきた。特に令和3年度に予定している薬学部開設については、学内外と調整を図りつつ精力的に準備に取り組んできた。また、今般のコロナ禍に対しても、リーダーシップを発揮し、迅速かつ的確に対応しており、その幅広い視点から冷静に判断する姿勢と調整能力は高く評価されているところであり、学内外からの信頼も厚い。

今後3年間の方針としては、教育・研究については、医療人に求められる豊かな人間性の涵養を大きな柱としながら、医学・看護学・薬学のそれぞれにおける切れ目のない卒前・卒後教育の実現や、学部の垣根を越えた大学院での研究体制に関する構想を示し、医療3職種の人材育成を担う中核機関として、教育の充実・研究水準の向上を図る考えを示した。

また、医療については、安全で質が高く、県民・患者から信頼される医療を提供できる基盤を創ることが一番の基本であるとし、大学附属病院としての役割を果たすために必要な人材育成や戦略的投資に取り組む考えを示した。

経営については、現任期中においても「堅実」をスローガンに安定経営を指向し、着実に収支を改善・安定化させており、引き続き堅実な経営が期待できる。

本法人は、薬学部が開設し「医療系総合大学」として飛躍するための重要な時期を迎えようとしている。このような時期に、本法人の諸課題に対し、内外の声に耳を傾けながら適切な調整を行い、着実な発展を目指していく姿勢は高く評価できる。

以上のことから、理事長選考会議は、法人運営に責任を持つ立場の教職員から最も多くの支持を得た意向調査も参考として、宮下和久氏が、次期理事長として適任であると全会一致で判断し、理事長候補者として選考した。

#### 5 意向調査結果について

別紙のとおり

## 6 参考

- (1) 公立大学法人和歌山県立医科大学定款の規定により、理事長は和歌山県立医科大学の学長となる。
- (2) 理事長選考会議は、地方独立行政法人法第 71 条第 3 項の規定により公立大学法人和歌山県立医科大学が設置した学長選考機関であり、定款の規定により、委員 10 人（経営審議会から選出された委員 5 人、教育研究審議会から選出された委員 5 人）で構成する。

理事長選考会議委員 (◎：議長)

委員名	職名等	選出母体
◎ 稲葉 信	副理事長	経営審議会
島 秀之	理事兼事務局長	経営審議会
松岡 靖之	経営審議会 外部委員	経営審議会
宮本 浩之	経営審議会 外部委員	経営審議会
山中 盛義	経営審議会 外部委員	経営審議会
足立 基浩	教育研究審議会 外部委員	教育研究審議会
上野 雅巳	地域・国際貢献推進本部長	教育研究審議会
雑賀 司珠也	産官学連携推進本部長	教育研究審議会
平井 秀一	入試センター長	教育研究審議会
柳川 敏彦	保健看護学部長	教育研究審議会

※選出母体ごとの、五十音順

## 次期理事長候補者略歴

宮下 和久 (みやした かずひさ)

現 和歌山県立医科大学理事長兼学長

- ◆生年月日 昭和27年5月3日 (68歳)
- ◆学位 昭和59年 3月 医学博士 (和歌山県立医科大学)
- ◆学歴 昭和53年 3月 和歌山県立医科大学卒業
- ◆主な職歴 昭和53年 4月 和歌山県立医科大学助手 (公衆衛生学講座)  
昭和59年 8月 和歌山県立医科大学講師 (公衆衛生学講座)  
昭和59年10月 中央労働災害防止協会・労働衛生検査センター衛生管理士  
昭和60年 4月 中央労働災害防止協会・労働衛生検査センター健康開発室長  
昭和64年 1月 和歌山県立医科大学助教授 (衛生学講座)  
平成 3年 9月 ドイツ・マインツ大学産業社会医学研究所客員教授  
(平成4年5月まで)  
平成 8年 4月 和歌山県立医科大学教授 (衛生学講座) (平成30年3月まで)  
平成16年 4月 和歌山県立医科大学医学部長 (平成20年3月まで)  
平成18年 4月 公立大学法人和歌山県立医科大学理事 (平成20年3月まで)  
平成22年 4月 公立大学法人和歌山県立医科大学副学長 (平成26年3月まで)  
平成24年 4月 公立大学法人和歌山県立医科大学理事 (平成26年3月まで)  
和歌山県立医科大学医学部長 (平成26年3月まで)  
平成30年 4月 公立大学法人和歌山県立医科大学理事長 (令和3年3月まで)
- ◆主な受賞歴 平成19年 7月 厚生労働大臣功績賞  
平成23年 7月 環境大臣表彰  
令和 2年10月 中央労働災害防止協会顕功賞

# 和歌山県立医科大学 理事長候補者選考

## 意向調査結果

意向調査日	令和2年11月10日	
意向調査対象者数 ※	286名	
意向調査結果 (得票順)	有効投票数	281票
	宮下和久候補者	123票
	山上裕機候補者	109票
	村垣泰光候補者	49票

※常時勤務する役員、教員（教授、准教授、講師）、事務及び技術職員（課長級以上の管理・監督者）